BUFFALO 35011080-02 2014.11

ハードディスク交換手順

LinkStation内蔵のハードディスクが故障したときは、別途ハードディスクを用意し、本紙に記載の手順にしたがって故障したハードディスクと交換してください(**故障していないハードディスクは交換しないでください**)。

RAID1モードでお使いのとき

データ保護のためRAIDアレイ障害発生時に自動的にシャットダウンするよう設定することをおすすめします。本製品の設定画面[システム]-[ディスク]-[RAIDアレイ]で、[障害発生時のシャットダウン]を[行う]で設定できます。

本製品の設定画面[システム]-[ディスク]で故障したディスク番号の[状態]に「エラー発生」の文字が表示されます(前面カバーを開けた状態で故障したハードディスク下部のツメが赤色に点灯しています)。LinkStationの電源をOFFにし、故障したハードディスクを交換してください。

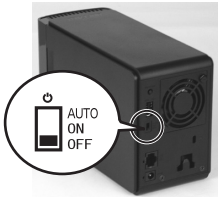
RAID0モード、通常モードでお使いのとき

RAID0モード、通常モードで故障した時は、RAIDアレイ内のデータ、ハードディスク内のデータを失います。ハードディスクを交換してもデータを修復することはできません。

本製品の設定画面[システム]-[ディスク]で故障したディスク番号の[状態]に「エラー発生」の文字が表示されます(前面カバーを開けた状態で故障したハードディスク下部のツメが赤色に点灯しています)。LinkStationの電源をOFFにし、故障したハードディスクを交換してください。

⚠注意
- 本製品の前面カバー部分だけを持って持ち上げないでください。前面カバーがはずれてしまい、落下する恐れがあります。
- LinkStationは精密な機器です。落としたり衝撃を与えないよう慎重に作業を行なってください。
- LinkStationは約3kgの重量があります。落としてけがすることがないよう慎重に作業を行なってください。
- LinkStation内部の金属部分で手をけがしないよう慎重に作業を行なってください。
- ハードディスクを交換する場合は、本書で指示されていない部分は絶対に分解しないでください。LinkStationの分解によって生じた故障や破損は、弊社の保証対象外となりますので、あらかじめご了承ください。
- 静電気による破損を防ぐため、身近な金属(ドアノブやアルミサッシなど)に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。
- 故障していないハードディスクは絶対に取り外さないでください。
- ハードディスクの左右の配置を入れ替えないでください。入れ替えた場合、本製品のデータが破損・消失する恐れがあります。
  例）左にあるハードディスクを抜き出し、右にあるハードディスクと差し替えるなど。
- **交換用ハードディスクについて**
  本製品のハードディスクを交換するときは、故障したハードディスクと同じ容量の弊社製内蔵ハードディスクをお買い求めください。
  弊社製OP-HD/LSシリーズ
  例：LinkStationが2TBモデル(1TB×2)の場合は、「OP-HD1.0T/LS(1TB)」をお買い求めください。
  ※LinkStation/TeraStationで使用したことのあるハードディスクは使用しないでください。リビルドが正常に働かないことがあります。

1 LinkStationの電源をOFFにし、ケーブル類を全て取り外します。



2 正面から見て左側面のくぼみを押しながら、前面カバーを手前に引きます。

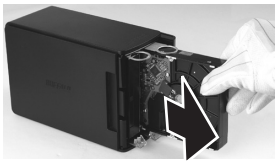
3 前面カバーを取り外します。

※LinkStationの電源がONの状態の場合、故障したハードディスク下部のツメが赤く点灯しています。電源をOFFにして手順4へおすすみください。

4 故障したハードディスクの下側ツメを押さえながら、上側のつまみを2cmほど引き出します。

※つまみ、ツメとハードディスクの間に指をはさまないようご注意ください。

5 LinkStationから故障したハードディスクを抜き出します。

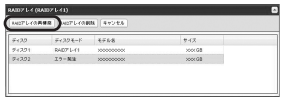


6 新しいハードディスクをLinkStationにカチッと音がするまで差し込みます。

7 前面カバーの凸部と本体のスリットを合わせ、前面カバーをはめ込みます。

8 ケーブル類を元の状態に戻し、LinkStationの電源をONにします。

9 RAID1モードでお使いの場合、本製品の設定画面[システム]-[ディスク]-[RAIDアレイ]でエラー表示のRAIDアレイをクリックし、[RAIDアレイの再構築]をクリックします。以降は画面の指示にしたがってハードディスクの構成を復旧してください。



※通常モードでお使いの場合は、本製品の設定画面[システム]-[ディスク]で交換したハードディスクをフォーマット、共有フォルダーの作成をしてからお使いください。

以上でハードディスクの交換は完了です。